

学校の使命（家庭・地域の願い）

- ◇ たくましく豊かな人間性の育成
- ◇ 将来に生きる学力を備えた生徒の育成
- ◇ 心身ともに健康な生徒の育成
- ◇ ふるさとを愛する生徒の育成
- ◇ 社会に貢献できる生徒の育成

学校教育目標

豊かな人間性を身につけた
心身ともにたくましい生徒の育成

【校訓】 自主 協同 創造

敦賀市「知・徳・体」令和プラン

子どもたちの夢と希望を
家庭・学校・地域で

「知」 学びを通して考える力
「徳」 内面を豊かにする力
「体」 たくましく生きる力

めざす生徒像

「自主」 自分自身でしっかりと考える生徒
「協同」 仲間と共に支え合い努力する生徒
「創造」 自分自身の力で夢に向かって挑戦する生徒

めざす教師像

向上心のある教師 → 確固たる当事者意識
愛情豊かな教師 → 生徒ファースト
協働する教師 → 日本一の高い同僚性のある集団

【めざす学校像】 重点目標・具体的な取組・数値目標

	心づくり	健康づくり	学ぶ力づくり	信頼づくり
	生徒・教師ともに一人一人が自己有用感や自己肯定感を実感できる学校	自他の心身の健康に気を配り、安全に安心して伸び伸びと活動できる学校	教師・生徒ともに学力向上に向けて、学びを「見つけ・高め・生かす」学校	学校と家庭・地域、教師と生徒がよりよい信頼関係を築ける学校
重点目標	<p>「強い心」づくり ◎挑戦し続ける心とレジリエンスの育成</p> <p>「しなやかな心」づくり ○広い視野と柔軟な心の育成</p> <p>「優しい心」づくり ○愛情と思いやりあふれる集団づくり ○道徳・人権教育の推進</p>	<p>「心身の健康」づくり ○基本的生活習慣の確立 ○部活動や表現活動の充実</p> <p>「安全・安心な教育環境」づくり ◎教育環境整備と居場所づくり ○いじめや問題行動への指導体制確立 ○報告・連絡・相談・確認の徹底</p>	<p>「見える学力」づくり ◎基礎・基本の定着の継続的な実践 ○ユニバーサルデザインを活かした授業研究</p> <p>「生かす学力」づくり ◎必要な場面でのタブレットの効果的活用 ○自主的に学ぶ態度の醸成 ○生徒選択場面を設定した授業展開</p>	<p>「受信・発信で信頼」づくり ◎家庭・地域も参画する学校運営 ○オープンスクール（授業参観）とホームページの充実 ○地域活動やボランティア活動への自主的、積極的参加</p>
具体的な取組	<p>◎自己有用感や自己肯定感を味わうことのできる授業や行事の実践</p> <p>○自分や他者の多様な生き方や存在を認め合う柔軟な心、困難や挫折に直面してもねばり強く最後まであきらめない心を育成する道徳や学級活動の実践</p> <p>◎道徳の授業および評価の研究・推進</p> <p>○人権尊重の実践的態度を育成する人権教育の推進</p> <p>○生徒会や学級会が主体となった学校や学年・学級行事の実施と、実施後の反省を生かして次につながる指導の工夫</p> <p>○愛情や思いやり、ソーシャルスキル向上のための計画的な全校一斉ピアサポートの実践</p> <p>○将来の生き方につながるキャリア教育の実践</p> <p>◎将来の生き方を学ぶ読書活動の推進</p> <p>○生きもの（花）を育てる心が育成される環境整備</p>	<p>◎報告・連絡・相談・確認の徹底による生徒指導体制の確立</p> <p>○ICTノートや長期休業のしおりによる家庭生活習慣の把握と指導</p> <p>◎生徒会からの呼びかけによる家庭での時間の使い方、通信機器利用の仕方の指導と情報モラルに関する意識の高揚</p> <p>◎定期的な生活アンケートによるいじめや不登校の未然防止、早期発見、きめ細かな初期対応の徹底</p> <p>◎カウンセリングの充実による生徒の内面把握と家庭との連携の強化</p> <p>○相談室運営の工夫と改善</p> <p>○学校行事や学級活動における表現活動の推進</p> <p>○主体的な生き方を育む部活動改革</p> <p>○効果的・効率的な安全点検</p> <p>○主体的な感染拡大防止対策の徹底</p> <p>○危機管理能力の育成</p>	<p>◎年間を通した各教科コンテストの実施</p> <p>○定期考査前教科相談や補充学習を中心に個に応じた最適な指導・支援の実施</p> <p>○長期休業における課題を個人毎習熟度別設定にする取組</p> <p>◎相互授業参観の定例化による協働性・同僚性の高揚</p> <p>○教科部会の充実および月例職員会議後の定例化</p> <p>○定期考査、確認テスト等の各学級、各教科別平均点による教員評価</p> <p>○生徒・教師自らによる授業評価</p> <p>○授業開始時の課題の明確化と、終末5分間の「何ができるようになったか」の学びの確認を实践する授業改善</p> <p>◎生徒選択場面の効果的な活用研究</p> <p>◎学校教育活動全般におけるタブレットの効果的活用研究</p>	<p>○持続可能なふるさと学習の推進 ・公民館と連携した地域人材バンクの開発と活用</p> <p>◎学校行事への保護者や地域住民の参画</p> <p>◎小中一貫教育の推進 ・オンラインを活用した小中接続事業の充実</p> <p>◎ホームページの定期的な更新と充実</p> <p>○保護者アンケートの実施と活用</p> <p>○PTAや関係機関との連携強化</p> <p>○社会参画意識の高揚 ・地域やボランティア活動への参加</p>
数値目標	<p>○SASA22質問紙結果 ・学校は楽しい 90%</p> <p>○学校評価（生徒対象）結果 ・ちょっと難しいことにも挑戦しようとした 90% ・将来への夢や目標、進路目標をもっている 90%</p> <p>○道徳の授業実施率 全学級100%以上</p>	<p>○いじめ問題解消 100%</p> <p>○年間欠席30日以上生徒 15人以下</p> <p>○新たな不登校生徒 3人以下</p> <p>○学年に応じたコンテスト計画の実施率 100%</p>	<p>○SASA2022正答率 全教科県平均以上</p> <p>○SASA2022質問紙結果 ・平日の家庭学習時間2時間以上50% ・休日の家庭学習時間3時間以上30% ・難しい問題でもいろいろなやり方を考えてがんばるの肯定率 70%</p> <p>○学校意識調査（生徒対象）結果 ・授業がよくわかる 85%</p>	<p>○毎月の学校たよりの発行</p> <p>○オンラインによる学校行事の発信</p> <p>○オープンスクール 年間2回以上 ○ホームページ更新 毎週2回以上</p>

業務改善・多忙化解消に向けた取組

「早く退勤する」のではなく「早く退勤できるようにする」ことを意識して、以下の点に取り組んでいく。

- 組織のスリム化
- 会議の精選と時間短縮
- 行事内容・時間の見直し
- 情報機器の有効な活用
- チーム学校・学年による協働業務
- 教職員の自己管理と意識高揚

研究主題 UDの視点を取り入れたわかる授業づくり ～ICTの効果的な活用を通して～